

東京工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	Grammar & Writing IV	
科目基礎情報							
科目番号	0026		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	物質工学科		対象学年		2		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	ジーニアス総合英語English Grammar in 27 Lessons、ジーニアス総合英語English Grammar in 27 Lessons WORKBOOK、ジーニアス総合英語						
担当教員	小林 礼実						
到達目標							
1. 文法問題に取り組み、理解している部分を強化したり、分からない部分を明確化した上で正しい理解を得たりすることができる。 2. 既習・未習の文法事項について、理解を深め、正しく運用できる。 3. これまで習った文法を使い、必要に応じて単語などを調べながら、自分の考えを英語で書くことができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安 (可)		未到達レベルの目安
評価項目1	自ら文法問題に取り組み、理解を強化すると共に、分からない部分は調べたり、他者に聞くなどして、問題演習に積極的に取り組んでいる。		自ら文法問題に取り組み、理解を強化すると共に、分からない部分は調べたり、他者に聞くなどして、問題演習に積極的に取り組んでいる。		自ら文法問題に取り組み、理解を強化すると共に、分からない部分を明確化している。		文法問題に積極的に取り組みず、理解している部分の強化をしていない。或いは分からない部分がどこなのかも分からない。
評価項目2	文法問題の80%以上で正しく解答している。		文法問題の70%以上で正しく解答している。		文法問題の60%以上で正しく解答している。		文法問題の正答が60%未満である。
評価項目3	自分の表現したい事柄を、多くの部分で文法的に正しく、分かりやすく、決められた分量以上で書き表している。		自分の表現したい事柄を、多くの部分で文法的に正しく、分かりやすく、決められた分量以上で書き表している。		自分の表現したい事柄を、おおよそ文法的に正しく、意味が取れるように、決められた分量以上で書き表している。		自分の表現したい事柄について、文法的に間違いが多く、他の人が読んで意味をとることができない、或いは決められた分量を満たしていない。
評価項目4	クラスメイトが書いたものに対して、内容的、且つ文法的に、意味のあるフィードバックができる。		クラスメイトが書いたものに対して、内容的、文法的に、意味のあるフィードバックができる。		クラスメイトが書いたものに対して、内容的、或いは文法的に、意味のあるフィードバックができる。		クラスメイトが書いたものに対して、内容的、或いは文法的に、意味のあるフィードバックができない。
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	1. 英作文とフィードバック 2. 教科書、ワークブック、参考書を利用した学習						
授業の進め方・方法	授業のうち前半は、次のいずれかを行う①アクティビティを行い、アクティビティ時に使った表現や、アクティビティを通して考えたことなどを英語でライティングする。②以前の自分のライティングの推敲。③英語表現収集。その上でクラスメイトとフィードバックを与え合う。後半は文法問題演習とや教員による解説を通して、文法事項の理解を深める。経過を見て変更することがある。						
注意点	授業には、2年次前期のGrammar & Writing III で使っていた教材、ワーク、英和辞典、ノートを毎回必ず持ってくる。剽窃は不正行為であり、剽窃があった場合には、ライティングの課題点全体が0点になる。また、自分の学習の記録は自分で保管し、自分の学習の状況開示を求められた際に、ノートやワークが提出できる状態にしておくこと。本科目の成績は定期試験の成績のみならず、予習・復習などの自学自習の実施状況も考慮して判断される。したがって自学自習の習慣を身につけることが必要である。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	シラバス配布、授業の概要説明 11 時制の一致と話法		Option 本授業で網羅する予定の文法項目や授業の進み方を確認、理解できる。時制と一致の話法の用法、意味を理解し、英作文に活用することができる。		
		2週	Option 8 前置詞 (1)、宿題p80の答え合わせ、ライティング		前置詞を使った表現を復習および学習し、用法、意味を理解し、英作文に活用することができる。自分の英作文を推敲し、より良いものにすることができる。		
		3週	Option 9 前置詞 (2)、宿題p81の答え合わせ、ライティング		前置詞を使った表現を復習および学習し、用法、意味を理解し、英作文に活用することができる。自分の英作文を推敲し、より良いものにすることができる。		
		4週	Option 10 前置詞 (3)、宿題p78の答え合わせ、ライティング		前置詞を使った表現を復習および学習し、用法、意味を理解し、英作文に活用することができる。自分の英作文を推敲し、より良いものにすることができる。		
		5週	Option 6 接続詞 (1)、宿題p79の答え合わせ、ライティング		接続詞を使った表現を復習および学習し、用法、意味を理解し、英作文に活用することができる。自分の英作文を推敲し、より良いものにすることができる。		
		6週	Option 7 接続詞 (2)、宿題p76の答え合わせ、ライティング		接続詞を使った表現を復習および学習し、用法、意味を理解し、英作文に活用することができる。自分の英作文を推敲し、より良いものにすることができる。		
		7週	ライティング、宿題p77の答え合わせ、ここまでの単元の復習		自分の英作文を推敲し、より良いものにすることができる。既習の単元の文法事項を復習する。		
		8週	中間試験		これまでに学習した内容を理解していることとその知識を運用し英文を作成したり、日本語訳を行うことができることを試験において示すことができる。		

4thQ	9週	試験返却と復習、Option 2 代名詞（１）	定期試験を振り返り、知識として身についた部分を再確認し、理解し切れていなかった部分について理解を深めて、今後の学習へ活かす。代名詞を使った表現を復習および学習し、用法、意味を理解し、英作文に活用することができる。
	10週	Option 3 代名詞（２）、p72の答え合わせ、ライティング	代名詞を使った表現を復習および学習し、用法、意味を理解し、英作文に活用することができる。自分の英作文を推敲し、より良いものにすることができる。
	11週	Option 13、否定（１）、p73の答え合わせ、ライティング	否定に特有の各種構文を学習し、その知識を練習問題で活用することができる。自分の英作文を推敲し、より良いものにすることができる。
	12週	Option 1 4 否定（２）、p84の答え合わせ、ライティング	否定に特有の各種構文を学習し、その知識を練習問題で活用することができる。自分の英作文を推敲し、より良いものにすることができる。
	13週	Option 15 強調・倒置など、p85の答え合わせ、ライティング	本単元で取り扱う特有の各種構文を学習し、その知識を練習問題で活用することができる。自分の英作文を推敲し、より良いものにすることができる。
	14週	Option 1 6 名詞構文・無生物主語、p86の答え合わせ、ライティング	本単元で取り扱う特有の各種構文を学習し、その知識を練習問題で活用することができる。自分の英作文を推敲し、より良いものにすることができる。
	15週	ライティング、宿題p87の答え合わせ、ここまでの単元の復習	自分の英作文を推敲し、より良いものにすることができる。既習の単元の文法事項を復習する。
	16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用能力の基礎固め	平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	

評価割合

	試験	英作文＆FB	ワーク課題				合計
総合評価割合	70	18	12	0	0	0	100
基礎的能力	70	18	12	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0